



## 8.6 ヒロシマ国際対話集会—反核の夕べ 2017

核兵器禁止条約から核廃絶へ —今、私たちは何をなすべきか—

国連の核兵器禁止条約交渉会議で7月7日、禁止条約が賛成 122 力国、反対 1、棄権 1 の圧倒的多数で採択されました。条約は9月 20 日以降、50 力国が批准すればその 90 日後に発効します。米国による広島・長崎への原爆投下から 72 年にしてようやく世界は核兵器廃絶へ踏み出しました。一方で核をめぐる情勢は、核超大国の米口が相次いで核戦力の増強を表明、北朝鮮が核開発やミサイル発射実験を繰り返すのに対してトランプ米政権が軍事行動も選択肢と示唆するなど、冷戦終結以降最悪の状況を迎えています。

全核保有国と日本など「核の傘」の下にある国々が禁止条約に反対する中で、条約締結国を広げていくために、まず被爆国日本政府の核政策を変え、条約に署名、批准することが世界から求められています。歴史的な核兵器禁止条約が成立した今、核なき世界の実現へ向けて私たちは何をなすべきかをパネリストとともに考えてみませんか。



7/7 禁止条約交渉会議で禁止条約採択を喜ぶ議場の被爆者。サーロー節子さん（中央）と藤森俊希日本被団協事務局次長（サーローさんから1人おいて左）



7/8 核兵器禁止条約採択を歓迎する原爆ドーム前集会（核兵器禁止条約のためのヒロシマ緊急共同行動）

日程：2017年 **8月6日**（日）  
時間：14:30～18:00（開場 14:00～）  
場所：合人社ウエンディひと・まちプラザ  
6F マルチメディア・スタジオ  
（広島市まちづくり市民交流プラザ）  
広島市中区袋町 6-36 TEL 082-545-3911

参加費用  
**700円**（資料代）  
【学生無料】



＜パネリスト＞

- 川崎 哲さん 核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）国際運営委員  
ピースボート共同代表
- 太田 昌克さん ジャーナリスト 共同通信編集委員、論説委員兼務
- 原田 浩さん 元広島平和記念資料館館長、被爆者
- ピーター・カズニックさん アメリカン大学教授
- 高校生平和大使 第20代高校生平和大使（広島）
- 森瀧 春子さん 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表（HANWA）

＜コーディネーター＞

- 沢田 正さん  
HANWA事務局長  
日本ジャーナリスト  
会議会員（JCJ）



共催：核兵器廃絶をめざすヒロシマの会（HANWA）  
NO DU（劣化ウラン兵器禁止）ヒロシマ・プロジェクト（ICBUW-HIROSHIMA）  
連絡先：090-7307-1862（沢田）